

# 学級活動指導案

日時 平成20年10月～11月

小学校 5年生

授業者 大島 正幸

## 1 題材名 「友達関係と言葉かけ」

## 2 題材設定の理由

### (1) 児童の実態

本学級の児童は男子〇〇名、女子〇〇名の計〇〇名で、入学時から単学級で5年目である。気持ち純粋な児童ばかりで和気あいあいとした雰囲気である。人間関係を細かく見ると、女子はすぐにペアになりがちで固定化している。そして、気心が知れている反面、言葉が言い過ぎてしまいトラブルになるケースも多い。また、男子は発言力の強い子に流されてしまう傾向が強く、言いたいことを我慢してしまっている児童も多い。更に、自分から友達に声をかけることもなく、仲間はずれにされているわけではないが、休み時間一人で過ごしていることが多い児童が数名いる。一学期、集団の規律が守れない児童に対して、対応に苦慮し、担任に相談にきた児童もいた。

### (2) 題材について

本題材は、学習指導要領における学級活動の内容(2)「日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること」の中の、「ウ、望ましい人間関係の形成」を受けて設定するものである。

望ましい人間関係づくりには、コミュニケーション能力が必要である。子どもたちは友達と一緒に学んだり遊んだり、さらに協力して課題を解決したりする経験を通して、その力を付けていく。しかし、子どもたちの中には、自分の考え方に固執し、固定した関係の中での活動や遊びの傾向がみられ、皆で遊ぶ楽しさや協力をして課題を達成する喜びを十分もてないため、コミュニケーション能力が十分に身に付いていない児童もいる。また、新しい指導要領では、望ましい人間関係について、「互いを尊重しよさを認め合う関係」としている。今回の題材を通して、「互いを尊重」、つまり「自分も友達も大切」にした言葉かけを学んでいきたい。

また、この活動を通して、これまでの自身の体験を振り返ったり、グループでの話し合いで意見交流をしたり、ロールプレイを通して体験をするなどして、「自分も友達も大切にする心の育成」を十分に図っていきたい。その際、「自分も友達も大切にする心」と「言葉かけ」の関連が、具体化できるように「言葉のハートマップ」を提示する。また、ロールプレイでの友達との交流を通して学び合い、そして感想を分かち合う活動を通して、「友達のよさを認め合える活動」へと深化させたい。そして自身の自己表現改善目標を設定し、日常化のための取り組みへと発展させたい。

このように、「自分も友達も大切にした心」で、「友達のよさを認め合い」ながら、言葉かけの実践的態度を育てることは、望ましい人間関係形成のため有効な手段であると考え本主題を設定した。

### (3) 題材の系統

#### ア. 学級活動

4年	5年	6年
5月 友達と仲良く助け合おう	5月 宿泊訓練で友達と助け合おう	5月 修学旅行で友達と助け合おう
11月 友達のよいところを見つけよう	11月 友達関係と言葉づかい	11月 学校発ありがとう便
1月 言葉や礼儀を正しくしよう	1月 言葉や礼儀を正しくしよう	1月 言葉や礼儀を正しくしよう

#### イ. 関連内容

- ・ 道徳 2-(4)寛容・謙虚 主題名：相手の立場になって（資料名「すれちがい」）【5年10月】
- ・ 心のノート
- ・ 人権月間「友だちのよいところを見つけよう」

### 3 目標

これまでの友達との言葉づかいについて振り返り、言葉づかいと心の関係について理解すると共に、自分も相手も大切にすることを通して、互いを尊重する心を育てる。

### 4 評価規準

関心・意欲・態度	「自分も友達も大切にする心」で、友達への言葉かけを、ふだんの生活の中で実践しようとする。
思考・判断	「自分も友達も大切にする心」で、友達への言葉かけすることについて、友達の表現のよさと自分の課題に気付く。
技能・表現	「自分も友達も大切にする心」で、友達への言葉かけができる。
知識・理解	「自分も友達も大切にする心」で友達への言葉かけをすることは、お互いの心を豊かにし、心と心を結び付けることが分かる。

### 5 指導方針及び支援

- (1) 一般的に「言葉かけ」とは、「相手に対して励ましの言葉などをかけて、サポートすること」をいうが、ここでは、あいさつのような短い言葉でもあり、また会話の中で展開される長いセンテンスからなる言葉も含まれることとしたい。どちらもその言葉にどのような「心」がはたらいて発せられているかということに視点を当てたい。
- (2) 第一時では、言葉かけの大切さを具体的に認識するために、「うれしかった言葉」「いやだった言葉」をかけられた時の事（言葉とその時の気持ち）を記述させる。そして、それぞれの言葉についてグループで発表し交流する。その際、言葉を付箋紙に書き類型化をして、その言葉の裏にある心の様子を吹き出しに記入させることにより、「言葉」は「心」のはたらきによって生まれることを確認できるようにする。尚、特に「いやだった言葉」については、言葉と心の学習であることを知らせ、個人を限定することではないこと強調して配慮したい。また、付箋紙を貼る台紙については、児童のイメージがわくように工夫をする。
- (3) 「うれしかった言葉」をかけられた時の、自分の気持ちについての感想を大事にしたい。自分の事を思ってくれた言葉や、心配してくれて言ってかけてくれた言葉が、逆に自分が言葉をかける立場になったとき、相手のことを大切に思う気持ちを喚起するものであることをおさえたい。

- (4) 第一時では、自分が友達から言葉かけを受けたことを想起して振り返り、第二時では、自分から友達に言葉かけをする立場になって想起する場面の設定を明確にして振り返られるようにしたい。
- (5) 第二時では、どのような気持ちで言葉が発せられているかということを、「自分も友達も大切にできる心」の視点に立って考えさせたい。その際、「言葉のハートマップ」を提示し、そこに位置付けることで、ことばの抽象的なイメージを自分と友達の心にそって、できるだけ具体化できる一助としたい。
- (6) 第三時における、自分の考えを隣や、班の友達と交流する活動を通して、友達の表現のよさを積極的に取り入れていけるよう支援することで、よさを認め合う人間関係のつながりをつけていきたい。
- (7) 日常生活への実践化へは、自身の課題と目標を明確にして、振り返り活動や、具体的なミニエクササイズを取り入れて、実践週間の短学活の活動へとつなげたい。

## 6 指導計画

時	ねらい	学習内容
第1時	これまでの友達との言葉のやりとりを振り返り、友達への言葉かけは言う人の心の状態と関係があり、友達を大切にする心の価値に気付く	友達からの言葉かけについて、「うれしかった言葉」と「いやだった言葉」について、グループで発表し交流する。そしてそのような言葉はどんな気持ちから発せられるのかを話し合う。
第2時	これまでの友達との言葉のやりとりを振り返り、三つの話し方を知り、「自分も友達も大切にできる心」をはたらかせて、言葉かけをすることの大切さに気付く	言うべきことを言えなくていやな思いをした経験を振り返り、「言葉のハートマップ」を紹介し、「自分も友達も大切にできる心」で話すことの大げさを知る。
第3時	「自分も友達も大切にできる心」で、言葉かけをすることを深める	三つの話し方を、ロールプレイを通して体験する。そして具体的な場面の想定のもと、「自分も友だちも大切にできる心」で対応するにはどうしたらよいかグループで意見交換する。

## 7 本時の学習（第1時）

### (1) ねらい

これまでの友達との言葉のやりとりを振り返り、友達への言葉かけは言う人の心の状態と関係があり、友達を大切にする心の価値に気付く。

### (2) 準備

ワークシート① 付箋（全員） 台紙・マジック（各班） OHC・スクリーン（教師）

(3) 展開

	学 習 活 動	時間	指導上の留意点と主な支援
つかむ	1.今日のめあてを知る。 「友達への言葉かけを見直そう」	3分	・友達への言葉かけへのエピソードを話し、本時の学習は「友達関係と言葉かけについて」見つめ直す活動であることを伝える。
	2.これまでの友達からの言葉かけについて振り返る。二つの観点でワークシート①に記入する。 (1)言われてうれしかった言葉 (2)言われていやだった言葉	7分	・具体的な場面での友達からの言葉かけの例を提示し、想起しやすいようにする。一つだけでなく複数記入してよいことを伝える。
	3.記入した言葉を付箋紙に書き、グループの友達とそれぞれその時の気持ちを発表し合い共有する。(付箋紙を台紙に貼り、似ている言葉は近くに貼る)	17分	・言葉の部分だけを記入し、交流しやすいようにする。 ・それぞれの体験を発表し合い、共感する。 ・言葉と心の学習であることを知らせ、個人を限定することではないことを伝える(特にいやだった言葉において)
	4.それぞれの言葉を、発した友達の気持ちを想像して記入する。 付箋紙をまとめ、言った友達の気持ちを吹き出しの中に記入する		・言われた時の気持ちが分かりやすいように、付箋を貼る台紙を工夫する。 ○友達の気持ちを想像することにより、言葉を発するもとにある、心の様子に着目し、それぞれの特徴に気付く。
	5. 各班より、発表をする。 まとめた台紙をOHCに投影しながら発表する。		・付箋の言葉と、吹き出しの言葉を照らし合わせながら発表できるようにする。 ・他の班の発表をよく聞き、共通点に気付けるようにする。
<p>【発表例】 ～な言葉かけはうれしかったです。～な気持ちで言ってくれたのだと思います。</p>			
深める	・「うれしかった言葉」と「いやだった言葉」を、言う人の心の様子と照らし合わせて聞き、考える。	10分	〈予想される発表〉 ・〈うれしい言葉を生み出す心〉 やさしい気持ちから。友達を思いやる気持ちから。心配してくれる気持ちから。 ・〈いやな言葉を生み出す心〉 自分勝手な気持ちから一方的な態度。誤解している。
	7. 本時のまとめ、振り返りをする。 ・振り返りカードに記入をする	3分	・友達への言葉かけは、心のはたらきと関係があり友達を大切に思う心が大事なことに気付いている。
まとめる			

7 本時の学習（第2時）

(1) ねらい

これまでの友達との言葉のやりとりを振り返り、三つの話し方を知り、「自分も友達も大切に  
する心」をはたらかせて、言葉かけをすることの大切さに気付く

(2) 準備

ワークシート②    プリント①（ある日の出来事）    言葉のハートマップ（掲示用模造紙）

(3) 展開

	学 習 活 動	時 間	指導上の留意点と主な支援
つかむ	1. 前時の活動を振り返る ・友達を大切にすることを確認する。 2. 本時のめあてを知る。 「友達への言葉かけを見直そうⅡ」	5分	・「言葉のハートマップ」（縦軸のみ）を掲示し、前時の大事なことを振り返るようにする。 ・友達の事だけを中心に心をはたらかせればよいのかどうかを、具体的な事例を提示することにより考えやすくした後、めあてを提示する。同時に、マップの横軸（自分）を貼る。
深める	3. ワークシート②の質問に答える。		・ワークシートの質問の内容が分るように説明をする。  ・友達に言いたいことがあるのに、言うことができなくて、いやな思いをしたことがありますか。
	4. 自分の記述をもとに発表する。  【例】～と友達に言われて、・・・と言いたかったのに、言えなかった。		・挙手をした児童に発表してもらう。 ・児童の発表内容を教師が簡潔にカードにまとめ、「言葉のハートマップ」に位置付ける。
	5. プリント①のやりとりについて考える。 ・教師の範読を聞く ・三つの例がマップのどこに位置付けられるか考える。		○三つのケースのやりとりについて、「言葉のハートマップ」に位置付ける。その際次の点を確認する。 ①自分（だけ）を大切にしている心をはたらかせている。 ②友達（だけ）を大切にしている心をはたらかせている。 ③自分も友達も大切にしている心をはたらかせている。
	6. 三つの話し方について、名前を考える。 ・それぞれの名前を考えることで、三つの話し方のイメージをふくらませる。	35分	・「言葉のハートマップ」を三つの領域に分けて、それぞれの特徴を考えた名前を付けられるようにする。 <i>EX</i> さわやかさん・おどおどさん・いばりやさん など
まとめる	7. 本時のまとめ、振り返りをする。	5分	・振り返りシートに記入し、本時のまとめができるようにする。

7 本時の学習（第3時）

(1) ねらい

「自分も友だちも大切にする心」で、言葉かけをするよさを深めるとともに、友達の言い方のよさを取り入れようとする。

(2) 準備

プリント②③（ある日の出来事）

言葉のハートマップ（掲示用）

(3) 展開

	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 点 と 主 な 支 援
つかむ	1. 前時の活動を振り返る。  2. 本時のめあてを知る。 「自分も友だちも大切に話す話を学ぼう」	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>三つの話し方の特徴を「言葉のハートマップ」と関連させて確認し、前時の活動を想起できるようにする。</li> <li>今日のめあてを掲示する。</li> </ul>
深める	3. プリント②のやりとりを読んで、その1～3までが、どのパターンかを考え、発表する。	15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>「何を大切にしているか」の視点を与えて、考えられるようにする。</li> <li>その1～3を、視点を確認しながらマップに位置付ける。</li> </ul>
	4. プリント②の三つのやりとりを、二人組でロールプレイをして体験し、その感想をシートに書き込み発表する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの話し方を体験し、「自分も友達も大切に話す話し方」のよさを実感する。</li> <li>○三つの役の感想を発表し合い、感想を分かち合う。友達が感想に対して、受け入れる気持ちで聞くようにすることで、他者理解を促進する。</li> </ul>
	5. プリント③を読み、「自分も友達も大切に話す話し方」を考える。  6. 自分で考えた案を三人組で交流し合う。そしてグループ（6人）の友達と交流を広げ、グループとしての考えをまとめる。  7. グループとしての案を発表する。（5グループ）  ・どんな点に工夫をしたか、その理由も発表する。	20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な場面で、どのように話したらよいかを「自分も友達も大切に話す」視点から、考えられるようにする。</li> <li>○友達との考えの交流を通して、積極的に友達の表現のよさを取り入れていくように支援することで、よさを認め合う関係を築けるようにする。</li> <li>教師が児童の考えを受容的に受けとめることで、児童間での交流も肯定的な雰囲気になるようはたらきかけたい。</li> <li>理由も発表することで、友達と考えを交流し、よさを認め合っていることを感じていきたい。</li> </ul>
まとめる	8. 本時のまとめ、振り返りをする。	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りシートに記入をする</li> <li>「自分も友だちも大切にする心」で話すことのよさに気付く。</li> </ul>

# ワークシート①

名前 \_\_\_\_\_

○ あなたが最近、友だちから言われた言葉かけで、とてもうれしかったのは、どんな言葉かけですか？

(いつ・どこで  
どんなとき)

--

(どんな言葉)

--

---

(いつ・どこで  
どんなとき)

--

(どんな言葉)

--

---

(いつ・どこで  
どんなとき)

--

(どんな言葉)

--

名前 \_\_\_\_\_

○ あなたが最近、友だちから言われた言葉かけで、とてもいやだったのは、どんな言葉かけですか？

(いつ・どこで  
どんなとき)

--

(どんな言葉)

--

---

(いつ・どこで  
どんなとき)

--

(どんな言葉)

--

---

(いつ・どこで  
どんなとき)

--

(どんな言葉)

--



## ワークシート②

名前 \_\_\_\_\_

- あなたは、友達に言いたいことがあるのに、言うことができなくて、いやな思いをしたことがありますか？

・ある

・ない

「ある」とこたえた人にききます。それはどんな事が言えなかったのですか？また、言うことができなくてどんな気持ちがしましたか

・

・

# さわやかシート

さわやか旬間 自 分 の 目 標



名前 \_\_\_\_\_

## 【 記入のしかた 】

～帰りの会でふりかえりましょう～

☆今日の自分をふりかえりましょう(よかったことはもちろん、そうでなかったことでもいいです)

☆今日、こんな「さわやかさん」を見つけました

【11月 日（ ）】

☆今日の自分をふりかえりましょう(よかったことはもちろん、そうでなかったことでもいいです)

いつ	どこで	だれに	こんなことを言いました(その時の気持ち)

☆今日、こんな「さわやかさん」を見つけました



いつ	どこで	だれが(だれに)	こんなことを言いました(その時の気持ち)

【先生より】